

研究構想図

学校教育目標 未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成

せらひがしっ子に
付けたい資質・能力

- ◎自発性
- ◎コミュニケーション能力

<目指す子ども像>

夢や志をもち、自ら挑戦する子ども
「挨拶する子」「挑戦する子」「たくましい子」

<目指す授業像>

自ら学ぶ、
学びを広げる・深める
「わくわく」「わかった」
「もっとやりたい」

研究主題

「図形」領域において、数学的な見方・考え方を活かし、
子ども自ら進める授業づくり

～「ICT 機器の利活用」や「ふりかえり」の充実を通して～

研究仮説

算数科授業「図形」領域において、日常的、効果的に、問題解決の場面で児童一人一人が発達段階に応じて ICT を効果的に利活用したり、「数学的な見方・考え方」を働かせながら、知識及び技能を習得したり、習得した知識及び技能を活用して課題解決に取り組んだりすれば、自ら学んでいく子どもが育つだろう。

手立て

「ICT の利活用」

- ・「確かめる」「広げる」「深める」場面を意図的・計画的に組み込む。

「ふりかえり」の充実

- ・目的を明確にした「ふりかえり」を継続的に取り組む。

- A: この学習を通してできるようになったことを書きましょう。
B: 参考になった友達の発言や助言について書きましょう。
C: 何をきっかけにして「めあて」を達成したのかを書きましょう。
D: 課題を解決するために、試行錯誤したことを書きましょう。
E: この学習で今後の学習や生活に生かせそうなことを書きましょう。

現状

- ・学年によって、学力定着に波がある。
- ・学年間で単元を系統的に考えることが不足している。

目指す子どもの姿

既習事項を使って新しい知識を自らつくり出し、
知識を深めることができる子ども。

コミュニケーション能力

自発性

差

新しい問題だけど
習ったことを使えば
解けるかも！
分かった！！
できた！！！！

わくわく！
もっと
やりたい！

主な授業の流れ

課題

見通し

自分の考え

数学的な見方・考え方の共有

まとめる

自作問題

ふりかえり

この問題って、前に
習ったことを使えば
できるのでは・・・？

- ・習ったことを使えば、
できる。
- ・算数はつながっている。

また新しい難しい問題
が出てきた！
分からない！
できない！！